

2025年2月14日(金)16:30~18:00
オンライン開催

グローバルビジネスにおける 安全衛生の動向と企業の役割 -南アジアにおけるILO技術協力の経験から-

講演概要

ILOは2022年に労働安全衛生を「労働における基本的原則と権利(FPRW:Fundamental Principles and Rights at Work)」の五番目の項目に加えました。
これによりILO労働安全衛生条約(1981年、第155号)および安全衛生における促進的枠組み条約(2006年、第187号)が中核的労働基準に加わり、加盟国は批准しているか否かに関わらず中核的労働基準の内容を実施し報告することが求められています。
企業にとっては働く人々の安全健康を増進する活動が改めてビジネスの根本条件となり、労働者にとっては安全で健康的な職場が雇用の際の必然の権利となります。
本講演ではインド・南アジア諸国におけるILOの技術協力活動の経験から、グローバルなビジネス活動に求められている企業の役割責任について、サプライチェーンに着目しながら事例を紹介します。

講演者

川上 剛(かわかみ つよし)

産業安全保健・労働基準監督シニアスペシャリスト、ILO南アジアディーセントワーク技術支援チーム、ニューデリー
略歴:東京医科歯科大学医学部卒業。医師、医学博士。1991年より労働科学研究所勤務。2000年よりILOアジア太平洋総局(バンコク)及びILO本部(ジュネーブ)を経て、現在、ILO南アジアディーセントワーク技術支援チームに勤務。



ZOOMによるオンライン開催 事前申し込み制 参加費: 一般: 1,000円 (維持会員は無料)
一般の方は peatix(ピーティックス)よりお申込みください。URL: <https://peatix.com/event/4229591/>
維持会員の方は 当所のWEBサイト<https://www.isl.or.jp/service/seminar/>よりお申込みください。
※申込の際に記入いただいたメールアドレスに、オンライン参加のためのアクセス情報をご案内します。
※開催前日までにのご案内が届かない場合は「お問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

